

受けが固まり、完成しなければならぬ段階を生かすべくおわけでございます。
当初予算は切くは余力を残すところはないと言え、基礎交付金におき
ましては昨年より三千五百万を上げたり、また全国の基礎町村が集り増
額を強く叫ぶわけ、若干増額されるのはなかなかならぬ、三千五百万を組
入わけでございます。ござるだけ余力は残し、補助金のある場合は積極的
に事業は完成したいと思ふわけ、いよいよおわけいたしまして、大内は事業を
遂行して、入いわけ、財政的側面は議会側から指摘があると思ひ、
みづからだけ数字を弄し、ござる体制はとるわけ、ござるしまして、おわけ、
は、対し、議会側の指摘をお願ひする次第でございます。

二十八番(中内虎藏) 三十九年度は切くは決定さうなわけ、事業ならば、方合の起
債、身も額が米の切りのみ、本年度の起債も通知を受け、おわけ、のみ、
おわけ、したいと思ひます。

二十八番(額を削減) 方合建設の起債、ござる、三千五百万、千達より減ったと

いう事、ござる、千五百万、千三百万となり、三十九年度は三千五百万の起債
を、欲しいと要望し、近く行政部長、おわけ、く、い、おわけ、たり、
現在、準備して、おわけ、数字、対しては、おわけ、通し、も、おわけ、自身、おわけ、
おわけ、ります。

二十八番(石川信義) 方合建設費と、整齊、焼却場、について、おわけ、いたし、
先程の神野、議員、の、指摘、の、通り、おわけ、し、ても、千五百万、外、義務、負担、を、
いたし、た、責任、上、ござる、こと、は、ござる、人、み、前、に、町長、は、三十九年、三十八年、は、
三十九年度、を、おわけ、千五百万、外、義務、負担、につ、き、まして、は、おわけ、たり、
さ、おわけ、した、り、おわけ、い、おわけ、賢明、は、額、おわけ、町長、おわけ、
額、した、わけ、たり、おわけ、私、共、も、恐、く、残、た、千五百万、は、おわけ、
と、思、う、く、い、た、おわけ、当初、予算、は、おわけ、も、三千五百万、五百万、という、数字、おわけ、
足、いて、おわけ、さ、おわけ、補、さん、につ、いて、は、町長、は、追加、更正、に、おわけ、責任、を、
おわけ、という、事、おわけ、ります、この、点、は、おわけ、指摘、いたし、た、人、おわけ、

佐氏の代表者として、必配する点がある。天のわがごとくである。市
令建設の不十分なため、五ヶ国百万も多すぎた。市界にわたる財税
の中、少くとも事は非常には困難な事であり、従いまして、府省とし
ては、処理を合せて、千五百近い予算が必要となるわけだ。歴史的に、平教料は
ついても、五百五十万円の町の財政としては、見込みで、おかげでござります。
歳入をいふと、百三十万四千円と、なる所あり、平教料の五百五十万円で
一般財政から、五千万四千円しか支出しないといふところ、このうち自動
車購入費、七十万円を計上し、残りもし、平教料のみ、自動車を購入して、
二台、合計は十五万五千円、残りの事も、あきらめなければならぬ。現行、八山の
平教料は、三人年分、なら、実施すべし。よき点を、町には、理事者は、戸当り
百人、十人、なか、八山、は、佐氏から、買収しても、らなければならぬ。ないとい
う事で、当時の厚生委員、八山、という、結果、ある。議会で、八山と、建
設、これ、月、から、実施、され、たいや、ござります。収入、総額の、月平均、八山の、

千戸の見込は秋は若干の無収があるのではあるのかと考へます。三十八年度当初予算では三千三百戸と記述してあり、その故部費、町費住宅の増による相当戸数にかゝるものとは解りませんが、増えても四千五百戸から五千戸程度で、五千戸の収入が概算の事はなりませうと、示は補助金も出るにせうが、右令の五千戸に限りてもいささかに配るものか。三十八年度の千五百戸も千三百戸しかあるかといふ事、又、水道会計の説明や起債の内容もいささか不明確なものと感じ、予算を見かたす、起債も組まれており秋としては町長の政治手腕の遺憾があるものではないかと、本年度財政をきたすことはいいと思ひます。現行一億五千五百万の財政で右令としれば、たゞでも千戸もあつたのではあるか、という点で、はたしてさうあるのか、明確に町長の方を願ひたいと思ひます。

一町長（礦吉嶺）にたいして万川鐵道から適切な御意見がなされたか、はな
たし申し上げまして、私は自身もよく知り得る必要があり、と仰ることを

申し上げます。いかに機会あるものに議会は開催せしめやうと思つたといふ
承ておきます。

十八番（万川信義）職務費の点について二十年度の予算を見ても職員
の給与以下が計上されておりますが今後担当各員及び事務費といふもの
で、職員費の引上りには予算にはなく、二十年度後は組まなければな
らない、十日頃は給与のベースアップもあつたかと、それは義務費であり
ますから町長が町財政で法令の定められた範囲で責任をもつた
加算をいふ給与にまつても三千万近くは不足してありますので金銭で
負担は義務費として不足してわかるかと承ります、町長は自身をもつ
予算措置をどうするかおぼろしいと思つたと思つて承ります、その
りお聞きかや願つたと思つて承ります。

二十番（頼吉靖蔵）たはいかりの増徴のご様子、一般職員に付しまして
は、その予算に計上してわかる通りでございます。ただ三校と特別勤

の改訂に付しましては、まだ予算には計上してありませんが秋には決して改訂
を認めてわかることはございません。国家公務員法に準じての人事院勧告に
基く改正、一般職員と比較検討した結果、こうした改訂が出さうなかわか
らぬとござります、かゝういう面におきまして私としては本意でないと思つて
すみ、結構引き上げのパーセン提議が出来るようござります、か、予算面に付
きましては一般職員についてはお聞き上げ、わかる通り改訂を行つたとい
ふ承ておきます。

議長（高橋千春）ここに暫時休憩いたします。

休憩 午後三時五十分

開議 午後四時二十分

議長（高橋千春）休憩前に引きつる議事を承ります。お聞きいたします。
今日の会議時間、午後五時と定められておりますが、議事の都合上予め延
長したいと思つて承ります、これは所定議事ありと承ります。

(昇議はしと好む者あり)

(議長(前橋正春) 四界議はしと認めます。よろしく本日の会議時間には延長する事に決定いたしました。

(議長(前橋正春) 議案第三十四号、一般会計予算案に付する質疑を総行いたします。

(二十三番(田村匡雄) 公債費についてお尋ねいたしますが、三十八年度の当初予算は、六百五十三万四千円計上されておりますが、本年度は約三倍の千九百十五万九千円という大増の計上になされた、これは資金調達等におきける過剰であったと思っておりますが、国庫支出からある部分、業者より二千万円を借り受けて支払ったという事も聞かれますが、事実かどうかお聞きしたいと思っております。

(町長(瀬古清藏) 公債費等については、お指摘のご通りであります。起債については収入役から数字を弄してお答えいたしました。事業を遂行する上は、お金の金融機関から借りて支払うておられる事やうでございます。例えは、防音事業をやった

おきまして、関係官庁の工事過程の検査を受け、承認された上で、書類を出し、現金が入るまでは、期満あり、事業を進行させる上で、業者が困らない面があるわけであり、その点については、お聞きして、スハースに進行させるには、適宜の措置で、町から代金という事は、今までもやうでございます。しかし、これは補助金を見られるわけであり、関係金融機関に銀行者から裏付けをとり、その補助金が入りますと、金融機関は、その点でございまして、その点でございまして、業者は、借入金というわけであり、その点でございまして、

(二十八番(大野忠) 現在おはす千五百三十九万四千円が残り、お尋ねの通りでございます。借入金として、お金と、一般会計の関係が、千五、学校用地の他、千八、千四百、千五、柳山関係が、百万というところでございます。

(二十三番(田村匡雄) 仮払いとしてお尋ねの事ですが、その場合、利息は町で支払うのか、うみ、的々借入の償還を計上したということから、私も町で支払うておられるのか、お尋ねいたします。

へ町長（瀬古清蔵）ただいまの御借備へござります。町から支給する場合は、業者より支払ものもあつたやござります。というは補助金からでも借りてく
いと言つても借りない場合は別な軒廻しをせねばならぬやござります。

へ三三番（田村重雄）大の場合、御借入金限度額八千五百圓の關係はどうか、

へ町長（瀬古清蔵）一億なら一億の工事を業者は請負いさせた場合、はつきりした書類をあげ、二いによつて行なはれる事は御承知の通りであります。結構引き受ける

金融機関は大いによつて補助金はいくらかという点、をいふや合や、融資するわけ、工事の進行状態もよく町から軒廻しをいふわけ、ござります。

へ三三番（田村重雄）御借入金以上は町へ借入りの事はないか、

へ町長（瀬古清蔵）大の場合、業者が借りのわけ、町としては軒廻しをやるだけであり、大いにも業者が受け取り町では書類を出して裏付けをやつてお
るという事でござります。

へ三三番（瀬古清蔵）御借入金以上は町へ借入りの事、町へ借入金の数字はいつまで

のものか、

へ収入役（大野忠一）二いによつて現在、御借入金八千五百圓、学校用地関係
八千九百五十圓、柳山関係八百万圓、庁舎関係八千二百八十
五圓、一般会計八千五百圓でござります。又限度額を上回つたという事は
ござります。

へ三三番（瀬古清蔵）御借入金限度以上借りておつたわけは、幸やすいわけにも
嘲を耳にいたしたか、今後入りのような嘲の出ないようには十分気を付けて
いたしたいと思います。

へ町長（瀬古清蔵）御借入金十分努力し、関連の無いようには期して参りたいと思
います。先程右の職員及らの御借備の点で、慶永焼利場の増備費にわけは
慶永焼利費八千三百四十圓、二いには臨時雇いの人夫費でござります。総務
費として職員の人夫費で、慶永仲介を合や、千五百五十圓を計上
いたしておつたやござります。一般家庭から八千九百圓を納めていたで、この

して、処分を要するものは、必ずしも筋が通うまいという事や計上したためや
ございます。いかにいたしまして、も当和を、その予定し提出したものを、
です。か、いかに、親戚、か、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、う、
く、もし、処分した場合、繰入金、その予定し、おきます、その、その、その、
け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、け、

議長（高橋千春）こい、この意見、お賛成を、お述べ、おつります。

議長（高橋千春）議案第、その、昭和、その、その、その、その、その、その、

又、田舎、理事、その、その、その、その、その、その、その、その、

（二）番（中田虎藏）審議会、その、その、その、その、その、その、その、

（助役（川島金吉）昭和、その、その、その、その、その、その、その、

その、その、その、その、その、その、その、その、その、その、その、

その、その、その、その、その、その、その、その、その、その、その、

金額、その、その、その、その、その、その、その、その、その、その、

と比較し、金額、その、その、その、その、その、その、その、その、
まして、八百、その、その、その、その、その、その、その、その、
いう、その、その、その、その、その、その、その、その、

（二）番（中田虎藏）保留地、その、その、その、その、その、その、その、

この、その、その、その、その、その、その、その、

（助役（川島金吉）その、その、その、その、その、その、その、その、

その、その、その、その、その、その、その、その、

議長（高橋千春）こい、この、その、その、その、その、その、その、

その、その、その、その、その、その、その、その、

より、その、その、その、その、その、その、その、その、

その、その、その、その、その、その、その、その、

いた、その、その、その、その、その、その、その、その、

（昇議、その、その、その、その、その、その、その、その、